北海道佐呂間高等学校通信　第202号　令和3年3月1日

こんにちは佐高です

佐呂間高校HPでもご覧ください！　URL:http://www.saroma.hokkaido-c.ed.jp

佐呂間町に在りて「自主性を高め、創造的な知性の人」となる
～　学びはつづく、卒業は通過点　～

令和２年度学校祭(R02.12.18) より

入学して３年、いよいよ卒業を迎えることができました。卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。この３年間、いつも元気で明るい皆さんと、多くの時間を過ごさせていただきました。今年はコロナの影響もあり、進路活動や部活、行事などを満足にできない時期がありました。その中でも前向きに取り組む皆さんの姿に、こちらも元気をもらえました。特に行事では、３年生になって学校全体をどう盛り上げるかを考えて行動できるようになるなど、成長した姿を見ることができました。この３年間、多くの場面で感じられたのは、地域の方々に支えによって生徒が成長していることです。日常的な登下校の場面から、介護福祉体験やインターンシップ、食文化体験などの行事で多くの町民の方々と交流させていただきました。そのたびに生徒が成長していくのを見ることで、佐呂間町の皆さんに、育てられているのだなと実感しました。また、部活バスや検定料、修学支援金でもサポートしていただき、本当にありがとうございます。

卒業生の中には、佐呂間町を離れる人もいますが、佐呂間町への感謝を胸に新たなステージへと進んで行きます。今後ともよろしくお願いいたします。　　－　３学年担任　松重光悦　－

１・２年生の進路学習～今年度のまとめ～

◎就職ガイダンス（２年生）

２月４日、本校の視聴覚教室を会場として、２学年の就職ガイダンスを行いました。講師にＣＤＡ（ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛﾌﾟﾒﾝﾄｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ）の山田輝之氏を招き、６時間分のプログラムを実施しました。生徒たちは、日頃の何気なくしている挨拶の大切さを感じたり、一人ずつが一企業ごとが社会を構成していることを認識し、いつかは自らが職に就くという意識がをもてたようでした。

集団面接で行う模擬面接練習

企業の社会的役割を全員で考える

受験報告を聞く１年生

◎受験報告会（１年生）

２月９日、受験報告会を行いました。現３年生が講師となって各の受験体験を１年生に語りました。公務員・民間就職、大学・専門学校等グループに分かれますが、１年生は、希望先に拘らず、３年生の全員の報告を聞くことができる貴重な機会です。質問をした１年生は聞き逃さないよう一生懸命に３年生の回答を聞いていました。

第57回北海道佐呂間高等学校卒業証書授与式　学び舎から23名が羽ばたきます

第57回卒業証書授与式式辞（要旨）

例年になく厳しかった冬の寒さも、徐々にやわらぎ、浅い春の風に校庭の樹木も心地よさそうに揺れています。

（･･･中略･･･来賓への謝辞、卒業生への祝意、卒業生の保護者への祝意と御礼など）

卒業生をはじめ本校生徒の諸活動に対する佐呂間町からの手厚いご支援、特に今年度は佐呂間高校卒業生修学補助金・就職等応援給付金、佐呂間高校入学者給付金の新設などもなされ、武田町長はじめ町民の皆様から多大なるご支援をいただいていることに、この場を借りて衷心より感謝申し上げます。

ところで、2020年は、新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言、東京オリンピック・パラリンピックの延期、高校においても臨時休業や、高体連・高文連・高野連の大会等も中止を余儀なくされ、この影響は今も続いています。一方、皆さんと同年代の藤井聡汰さんが将棋界の最年少記録をいくつも塗り替えました。若者のこうした活躍に、目を細め、たくましさや感動を覚えた方も少なくないと思います。

本校においても、例えば12月開催となった学校祭では、生徒は知恵を凝らし、工夫を加え、そして生徒会や卒業生の皆さんはじめ、粘り強く協力し、力強く牽引してくれ、私はその姿に大きく胸を打たれました。改めて皆さん全員に敬意を表します。

その皆さんが高等学校を卒業すると、もっと広く大きな、あるいは今までにない厳しい道を歩むことがあるでしょう。そこで、守・破・離という言葉を贈ります。

守は、守る。先人の知恵や教えに学び、基礎・基本をしっかり身に付け、守りを固めるということです。

破は、破る。基礎・基本の上に立ち、様々なことに挑戦し、自分の殻を破り、実力や個性をつけていく段階です。

離は、離れる。これまでのところから離れ、新しい境地、人生を切り拓くということです。

皆さんも佐呂間高校に入学し、社会で生きていくために必要な基礎・基本を学びました。そして行事や部・局活動、進路活動など様々なことに挑戦して力をつけ、自己実現に向けて切り拓いてきました。そして今、高等学校の卒業を迎え、新たなところで、守る・破る・離れる、守・破・離を繰り返すことになります。

皆さん一人一人が自分の人生のパイオニア、開拓者です。守・破・離の心をもって、自分のより良い在り方を求め、自分の進むべき道を究めてください。そうして自分の道、人生を切り拓くとともに、次代の社会を担う人材となるべく、皆さんのますますのご活躍を祈念し、餞とします。

結びに、保護者の皆様はもとより、ご来賓、町民、関係者の皆様を含め、全ての方々にお願いがございます。本日、本校を巣立ちゆく生徒は皆、今後の社会を持続可能なものにしていく尊い人材であり、宝です。ぜひ、これまで以上に、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。

令和三年三月一日

北海道佐呂間高等学校長　渡邉　周一

卒業証書授与式は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の配慮のため例年より一部を変更して実施します。御理解御協力ありがとうございます。

ー　3月の予定　ー

1	月	卒業証書授与式、防災点検日 生徒会機関誌・学校通信・PTA通信発行	15	月	交通安全の日、見学旅行（～18日）
			16	火	合格発表日（掲示なし･webのみ）
3	水	入学者選抜（学力検査）	18	木	進学相談会（北見）
4	木	入学者選抜（面接）	20	土	春分の日
8	月	学力テスト（１年）	24	水	大掃除、修了式離任式、定時退勤日
9	火	学校評議委員会	25	木	学年末休業（～３１日）
13	土	テニス部インドアダブルス（北見）	29	月	合格者登校日、教科書販売（新１年生）

お知らせ：「こんにちは佐高です」は、佐呂間町内の全戸配付から、ホームページの閲覧に代わります。今後も紙媒体の配付を希望される方は、係までお問い合わせください。

係：教頭（☎01587-2-3653）